

# 子どもたちに 核兵器も基地もない 平和な日本と世界を

平和・核兵器廃絶  
メールニュース第1号  
2011年2月18日(金)  
全教・国民共同局

## すべての政府に核兵器禁止条約の交渉開始を求める 新署名「核兵器全面禁止のアピール」がスタート

日本原水協は、2月15日、広島、長崎、東京で新たな署名「核兵器全面禁止のアピール」の発表集会をおこない、すべての国の政府に核兵器全面禁止条約の交渉に踏み切るよう呼びかける新たな国際署名運動をスタートさせました。

この運動は、全国の半数を超える首長が参加する平和市長会議の署名運動など、核兵器全面禁止の主旨を同じくするすべての運動と連帯してすすめ、これまで以上に広範な国内外の世論を結集するものです。この発表に向けて、国連の潘基文事務総長、広島・長崎両市の市長をはじめ、被爆者代表、ノーベル賞受賞者の大江健三郎さん、益川敏英さん、プロ野球の張本勲さん、俳優の吉永小百合さん、宝田明さん、歌手のクミコさん、元ちとせさん、沢田研二さんなど、各界各分野で活躍するたくさんの方々、さらに、幅広い全世界の反核平和運動のリーダーから、熱烈な賛同と連帯のメッセージが寄せられています。全教も、日本原水協に結集し、学校教職員をはじめ広範な市民に署名を広げるために奮闘する決意です。



### 広島から 「発表集会・広島」に参加し署名運動に全力



2月15日、「核兵器全面禁止のアピール国際署名」の発表集会・広島が開催されました。発表された署名は、「核兵器のない世界の実現」、そのために「すべての国の政府が、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始する」ことを求めています。

全教広島は、被爆の実相を明らかにするとともに、「世界中どこの地であってもヒロシマをくり返してはならない」「私達の生きているうちに核兵器の廃絶を」という被爆者の願いにたってヒロシマを学び、平和学習にとりくんできました。今回の国際署名は、運動の到達点に立って「核兵器禁止

条約の交渉」を署名の中心に掲げています。全教広島は、このアピールを全面的に支持し署名集約に全力をあげます。(全教広島・書記長 神部泰)

全教本部も  
6・9行動で  
新署名訴え

### 「これは大事な署名だ」と署名もカンパも

17日、全教本部は、四ツ谷駅前で、新署名が始まっての最初の6・9行動にとりくみ、委員長・書記長はじめ役職員14人が参加しました。木原中執、伊勢書記、山口委員長がハンドマイクで、「いま、被爆

国日本からの声が核兵器の廃絶へ世界を動かしている」「みなさんの署名で核兵器のない世界を実現する国際交渉を開始させよう」と署名への協力を訴え、30分の行動でしたが、新署名の呼びかけチラシ100枚を配布し、署名7筆が集まりました。

「これは大事な署名だ」「私も平和の運動してる」と2人の方からカンパもいただきました。

